



<http://homepage2.nifty.com/hotspace/>
 「ほっとスペース八王子」のホームページも見てね。
 掲示板「お遊び落書き帳」にも書き込んで下さい。
 「ほっと」ニュース(PDFファイル)のダウンロードもできます。

ハイ、ポーズ。カシャ。2008年もよろしくお願ひいたします。ほっと一同

SSKS

「ほっとスペース八王子」ニュース

ほっと

2008年2月10日発行

121号

定価 100円

目次

巻頭論文

今年も障害者自立支援法撤廃に向けて頑張ろう 2頁

特集 2007年韓国研修事前・事後研修レポート

韓国研修旅行を振り返って 3頁
 韓国研修事前・事後研修レポート 3頁～12頁
 韓国お茶の効用 / 韓国の福祉 / 韓国宮廷のキムチ / カヤグムについて

特集 2007年こんなこともあったなあ。2008年どうなるかな。

2007年望年会に参加して / 2007年の思い出 / 照代さんの思い出
 / 2008年を迎えて 12頁～14頁

MIKEの俳句コーナー 14頁

特別寄稿 大衆団体と政党・党派の関係について 15頁

会員の皆様へ 労働学校・学習会開催のお知らせ 15頁

編集後記 16頁

編 八王子市八幡町二二二ふくしまやビル二階
 集 「ほっとスペース八王子」(代表 堀部 正)
 人
 電 〇四二一六二八一三一九
 F 〇四二一六二〇一七八六
 A 〇四二一六二〇一七八六
 X 話
 郵便替 所
 E-Mail: cxbo1672@nifty.ne.jp
 ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/hotspace/>
 世田谷区砧六二二六二二 障害者団体定期刊行物協会

八王子市八幡町二二二ふくしまやビル二階
 「ほっとスペース八王子」(代表 堀部 正)
 〇四二一六二八一三一九
 〇四二一六二〇一七八六
 〇四二一六二〇一七八六
 http://homepage2.nifty.com/hotspace/
 CXBO1672@nifty.ne.jp
 〇〇一八〇七七一四六「ほっとスペース八王子」
 世田谷区砧六二二六二二 障害者団体定期刊行物協会



《2008年の抱負》

堀部正

新しい年になって軒並み物価が上昇しています。格差社会を作った自民・公明与党政府は次は物価上昇で私たち貧困層を狙い撃ちしているかのようです。

いったい私たちがどんな悪いことをしたと言っているのでしょうか? こういう仕打ちに合つのは一体何故なんでしょう?

「しょうがい」を持ったことが、「精神病」になっただけが悪いことなんじゃないですか?

そして、「しょうがい」を持った仲間や「精神病」になった仲間は、自分の責任で「健常者」との垣根(ハンデキャップ)を取り払わなければならないのではありませんか?

この考え方が「障害者自立支援法」です。昨年は「ほっとスペース八王子」は激動の年で逮捕・措置入院。多くの新しい仲間がほっとの会員となってくれた一方、7年通っていた仲間の死亡事故が起こった。二人の会員のアルバイト就労。そして労働組合への加盟。組合の力で就労が維持・継続。2週間で解雇された仲間の解雇撤回。二人の元教員の入会。元会員の孤独死。そして仲間の結婚。おめでたいこと、悲しいことが一緒になって一気に降り

今年も「障害者自立支援法」撤廃に向けて闘いぬこう!

かかってきました。二年か三年分の出来事が起きたような感じでした。しかし、この試練もくぐり抜けて、「ほっとスペース八王子」もいよいよ設立以来十三年です。患者会の時期も合わせると十五年になります。

「障害者自立支援法」のために「ほっとスペース八王子」も正念場を迎えています。当初の頃のように、患者会に戻って振り出しから始めるのか。とりあえずは何とか「障害者自立支援法」内施設に移行して、「ほっとスペース八王子」に通っている仲間

はしていない。今まで以上に「しょうがいしゃ」や「精神病者」は生活が厳しくなり、いままで独立できていた仲間さえ親兄弟と同居しなければならなくなった仲間、親兄弟の面

の面倒をみ続け、職員の職場を守るか。

いろいろな議論が

「ほっとスペース八王子」内で交わされています。

自民党・公明党さらには「障害者自立支援法」を撤廃させるかと思っ

た民主党も個人負担やこの法律の枠組みをなくそうと



昨年10・30全国大フォーラムに結集した人々



どうしてこんな法律を作ったんだ!

子のために生活保護を取ることで、親

兄弟からの仕送りで独立して生活している仲間はこの法律のために肩身の狭い思いをこれからもずっと、そしてますますしていかなければならない。ますます、親兄弟への依存を高め、親兄弟の顔色を見ながら、近所に迷惑をかけないように息を殺してひっそりと生きていかなければならなくなる。こうなったら「障害者自立支援法」のどの部分が自立を促進する法律なのだろうか。
都内のどの施設も「障害者自立支援法」内施設に移行できない、移行しても成り立たない施設ばかりです。無理やりいくつかの施設が合併してみてもそれは「しょうがいしゃ」「精神病者」仲間の個人負

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

担や施設職員の犠牲の上に成り立つものであり、ゆくゆくは施設職員のマンパワー不足で通っている仲間にしわ寄せがくるのです。利用費としてお金は取られ、更に施設の提供するサービスも劣悪化するのには目に見えています。

今だったら、法内施設に移行すれば様々な褒美がついていて、施設が広くなったり、きれいにするための予算がついてきます。しかし、それを維持するのは並大抵のことではありません。「障害者自立支援法」内施設でない方が家賃補助もあり、まだ、ゆったりと運営できていたものが、少ない職員数でまかなっていかなければならぬからです。

八王子市内の施設の皆さん、三多摩・東京都内の施設の皆さん、そして全国の施設に通う仲間たち、職員のみなさん！

新しい年はいよいよ正念場です。物価上昇、生活保護基準の切り下げなど私たちの生活を根こそぎ破壊しようとする自民・公明与党を許しません。みなさんと共に協力し合って何とかこの動きに歯

止めをかけましょう。

わたしたち「精神病患者」は日々の暮らし、日々の気持ち、症状に左右されて近い将来であっても、目をやる余裕もない仲間が多いけど、少しでも元気な仲間、他の仲間の面倒を少しでも見ることが出来る仲間は何かしようよ。

《韓国研修旅行報告記》

●韓国研修旅行に始めて参加して

ダヤン

アジアを旅行するのは初めてだった。哲学、詩、絵画、文学などヨーロッパ文化を知ることが多かったのだが、近年のアジアの歴史に目を向けなければいけないと思った。刑務所を見学したとき、日本でも政治犯がどんなに弾圧されたかということを知っていたが、他のアジアの人々に対しても、もっとむごいひどいことをしてきたのだなと思った。人権の大切さを身にしみて感じた。拷問はあってはならない。国のためとか公的秩序のためとかの理由は通らない。絶対にあってはならない。国を超えて支配するものと支配されるものがある。チョンテイルの追悼式では韓国の人々と一緒にやってよかった。国と国ではなく市民と市民が友好を深めていくべきだ。人類として人を人として大切にすることを世界をコスモポリタンとして生きねばならないと思う。韓国を植民地にしたことなど加害としての歴史を知り、このときばかりは日本人として責任を持ちたいと思っ

た。

●韓国研修旅行を振り返って

堀部正

毎年恒例となった韓国研修旅行。昨年は世界にグローバルイズムが吹き荒れる中での激動の時代を思わせる旅行となりました。韓国民主労総という労働組合のナショナルセンターがイ・スンマン、パク・チョンヒ、チョン・ドファン、ノ・テウ独裁政権の下、逮捕、投獄、拷問、獄死攻撃の最中、民主化闘争を展開していた韓国国民衆の中でチョン・テイル氏は中学卒業して労働現場に就いた。

過酷な労働条件の下で、多くの労働者仲間が苦しんでいるのを目の当たりにして、何とか労働者の団結を作り出し、労働者の生きる権利と労働条件の改善を目指して、一人孤

独な闘いを進めていたが、相談する当てもなく孤立して独裁政権下の権力に押さえ込まれていた。

その中で自らを炎と



ソウル市内の食堂にて

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

して労働者の団結を訴え、労働者の生きる権利を訴えて息絶えた。いまも韓国労働者の鑑として知らないものがないほど尊敬されている労働者だ。そのチョン・テイル氏の精神がグローバリズムの吹きすさぶ現代社会の中でこそ息吹いている、と思わせる内容の韓国研修旅行でした。

韓国だけでなく、日本も、アセアン諸国、欧米各国もグローバリズムの影響は深刻だ。

格差社会、貧富の差が益々広がる弱肉強食の社会に変貌している。お金のないものは自己責任として死を選ばなければならぬ。これが現実のものとなっている。日本でもご承知の通り、医療保険法が改悪され、国民年金を支払うことが出来ないものは国民健康保険で医療を受けることが出来なくなっただけだ。病気になっても病院に行けない。入院すると借金漬けとなり、借金のために一家心中、殺人事件、強盗事件など頻繁に起き始めている。労働者も非正規労働者が大半を占め、最低賃金すらすれで働き、生活保護者よりも

過酷な生活を強いられる。その結果、生活保護基準が切り下げられるという本末転倒なことさえ自民党・公明党政権は行おうとしている。

「障害者」「精神病患者」も「障害者自立支援法」によって生活保護対象になるかならないかのすれすれの仲間はないお金の家族もろとも搾り出すように搾り取られてやっこのことで生きていけるかどうかの状況だ。

「ほっとスペース八王子」の元会員で一昨年に更新登録しなかった仲間が昨年の6月に孤独死をしていた。十一月一九日に韓国から帰って一一九号の二ユーを発送して、仲間の親御さんから連絡を受けてはじめて彼の死を知った。

生活保護のケースワーカーも一人で一三〇人の生活保護受給者を受け持っているそうだ。だから孤独死させても良いということにはならない。グローバリズムのおおりに受けて、小泉元総理は行財政改革というところで地方分権推進と聞こえは良い悪行を

行った結果がこうだ。地方行政は予算がないのでそのおろりを社会的弱者が受けている。死をも強制されているのだ。自分だけが生きていければ良いというような考え方ではいつかは自分も殺されてしまうという世の中だ。



2007年11・12集会前夜祭にて

韓国での民主労総の労働者全国大会はノ・ムヒョン政権の独裁政権張りの強圧で集会禁止令を出した。しかし、韓国民衆はそんな強圧には負けてはいない。日本の戦前の植民地支配、韓国の解放後の独裁政権下であらゆる弾圧下で民主化闘争を闘い抜いた韓国民衆は実力で集会禁止をした会場予定の光化門(カンファムン)交差点付近から会場を変えて、市庁に向かう大通りを占拠して集会場とした。警察機動隊が4万人動員されても7万の地方から上京した労働者、農民とソウル近辺で組織されている民主労総下の労働者2万人の力で押し返し、集会を買った。

警察機動隊の放水攻撃でも、ソウル市内の重要な道路をすべて封鎖するような敵威態勢でも集会は実力で持たれた。更に、4万人の無届デモは圧巻でした。ソウルの市街は警察の戒厳体制で道路という道路が封鎖されていて、数えるほどの幹線道路しか車は通れない上に、車の洪水の中を取り巻くようにデモがあるので車は夜遅くまで動くことが出来なかつた。しかし、民主労総のデモだと分かることみんな納

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

得。日本の植民地支配下での苦しめられながらも、いつか朝鮮・韓国を解放するという悲願を達成した朝鮮・韓国民衆の反権力意識は半端なものではない。解放後の独裁政権時代の戒厳体制下で長年、民主化闘争を行ってきた民主労総の権威はそのままです。いもを持ってきているのだ。これらの権威が一朝一夕で作り上げられたものではないことは誰の目にも明らかだ。日本の新左翼運動が労働運動として地道に着実に根付いてこなかった原因をしつかりと見つめ、韓国民主労総の表面上の戦闘性だけに目を奪われて浮かれることは出来ない。

しかし、これが労働者の方だと確信できるような集会、取り組みだった。

集会在禁止されても、警察力で潰そうとしても実力で集会を開き、貫徹する。許可されなくても集会を必要とする時には実力で開く。民衆にアピールしなければならぬ時には、許可されなくても実力でデモをする。民主主義とはこういうものだという実感をつか

きました。民主主義は与えられるものではなく、地を這うように地道に努力して、民衆と結びつき実力でつかみ取るもの。この精神がチョン・テイル氏の精神だということに改めてつかみました。僕たちもこのような労働者の力を信じて、「障害者自立支援法」撤廃をあくまで掲げて取り組みを緩めずに進めていく決意をあらたにしました。

《韓国研修事前・事後研究レポート》

●韓国のお茶の効能について

ティクシー

韓国のお茶について調べました。



韓国の伝統茶について調べたところ、甘めのお茶、苦めのお茶、辛めのお茶がありました。果物、木の実に、しょうがが高麗人参などさまざまな材料からつくられていました。手軽に楽しみたい人は市販されているインスタントの伝統茶のパックもあります。

○甘めのお茶

・ユジャチャ(ゆず茶)

効能：風邪予防、抗癌効果。ゆずの皮と実の部分を軽く刻み砂糖漬けにしたものをお湯に溶いて飲む。ビタミンCが豊富で美容にも効果があり女性にも人気です。

・テチュチャ(なつめ茶)

効能：咳、低血圧、頭痛。ナツメを煮たものに蜂蜜や砂糖を入れて煮込んだお茶。スライスしたナツメと松の実などが入っており、甘く濃厚な味がする。ビタミンCが豊富。

・オミジャファチャ(五味子花茶)

効能：リラックス。五味子花茶にスイカや梨などの果物を浮かべたジュースのようなお茶。水を浮かべて飲むので体温を下げる効果があり、夏に飲むことが多い。

・スギョングア(水正果)

効能：健康増進、体質改善。しょうがとシナモン、干し柿、砂糖から作られた韓国伝統茶のひとつ。シナモンの甘さと香りがかなり濃く、冷たく冷やして松の実を浮かべて飲む。

・モカアチャ(かりん茶)

効能：のどの痛み。かりんを薄く切り、砂糖や蜂蜜につけたものをお湯で溶いて飲む。干したかりんを煮て飲むこともあり、のどが痛くなったときに良く飲



韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

まれる。

・ペスツ(梨茶)

効能：のどの痛み。大きな梨が入った冷たいお茶。しょうが汁やこしょうがはいることもあり、甘い味がする。モガア茶同様、のどの痛みにも効果がある。

・シツケ

効能：食欲不振、消化不良。炊いたお米から作られる甘い米のお茶。くせがないほのかな甘味のある味。消化促進の効果があり、一般飲食店喫茶店で食後に与えられる場合もある。

・オミシヤ茶(五味子茶)

効能：利尿作用、咳、喘息。五味子という実を干したものを煮出して作るお茶。甘い、辛い、苦い、塩辛い、すっぱいの五つの味が微妙に混ざりあう。咳止めに利く。

・メシルチャ(梅実茶)

効能：消化不良。梅のはちみつ付けを煎じたお茶。梅酒に似た風味の甘酸っぱいお茶でお店によって甘味と酸味が違う。さっぱり味。

・クワラチャ(菊花茶)

効能：ストレス解消、頭痛。蜂蜜につけた菊の花を、お湯で溶いた

お茶。飲むときは茶こしで花びらを取り除いて飲む。ハーブティーのような上品な味わい。

・ノツチャ(緑茶)

効能：美肌、口臭予防、リラックス。カフェイン、タンニン、ビタミンなどが多く含まれ、目を覚まし、頭をすっきりさせる効果がある。韓国ではポソン(宝城)とチエシユ(濟州島)のソルロツが有名。

○苦めのお茶

・インサムチャ(人參茶)

効能：滋養強壮、貧血。高麗人參を弱火で煮て、そのまま飲んだり、粉にして水に溶いて飲むこともある。高麗人參特有の苦味とにおいが癖のある味。

・サンファチャ(？和茶)

効能：疲労回復、肝臓強化。たくさん生葉やピーナツ、松の実、なつめなどを混ぜて作った、伝統的な健康茶。漢方薬のような濃厚な味のなかに、ほのかな甘さがある。

○辛めのお茶

・センガンチャ(生姜茶)

効能：のどの痛み、咳止め。しょうがの皮をとり、薄切りにして水に入れて長時間に詰めたお茶。人參、ナツメ、桂皮などと一緒に煮詰めることもあり、ピリツとした苦味が



ある。

今回お茶に関して調べてみたら、甘いもののほかに辛いものもありました。まだ飲んでないものもあるので飲んでみたいです。

● 韓国の福祉

渡辺広海

韓国の福祉について調べました



韓国においての高齢者観(年を取った人のありさま、考え方)は、儒教(儒学。中国の孔子を祖とする聖人の教えを集大成した政治・道徳の学問)の考え方が強く現れ、「敬老孝親(老人を敬うこと)」として年長者は尊敬すべきものとされ、家庭においてもそのような立場は確保されている。しかし、現在、韓国においても、日本と同様に、産業化・工業化による家庭形態の変化や少子化・高齢化、また、世代間の考えの違いによって、これまでの伝統的(今までの)老人観が崩れ始めている。それに加え、世界でも最も早い高齢社会の到来に、高齢者福祉は、今重要な社会問題になっている。

高齢者の社会保障制度としては、日本とほとんど変わりなく、敬老年金(日本の国民年金と同じも

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

の、本稿保険（日本の厚生年金と同じもの）、公的扶助（役所の助け）等がある。また、1981年には老人福祉法（韓国の法律。老人の福祉を考える政策）が制定され、高齢者の権利性の尊重が図られているが、現狀的には、国の

家族介護（家族による介護）への依存が大きいことが問題となっている。そして現在高齢者施策として、4つ挙げられている。1、健康で活力ある老人力を作る。2、低所得の老人生活の安定と基盤作り。3、老人の特性を考えた健康保健対策作り。4、保健福祉対策の基盤整備を各州で行う、など。しかし、日本の老人福祉法が1968年に制定されたことを考えると、韓国の高齢者福祉の基盤整備はこれからということだろう。

現在、韓国においても、在宅福祉を中心とした施策が打ち出され、ホームヘルプサービス（ある企業に専属の家政婦。家庭に派遣されて家族を助ける）、ショートステイ（障害者の家に泊して

サービスを行う）、デイサービス（日帰りでヘルパーがサービスを行う）という在宅3本柱が中心となっている。しかし、介護保険制度のようなものはないため、利用に関しては一般的に自己負担となっている。

韓国が日本と大きく違うのは、日本は多くの福祉の専門職の育成を方策としているが、韓国は多くのボランティアの育成を方策としている。この背景には、宗教国家である韓国の奉仕の心という国民性もあるが、現狀的には、国家財政の中で、他の部門に比べると福祉が軽視されるため、支出が抑えられているということが考えられる。

そのため、社会福祉資源（社会の人々の幸福資源）（福祉サービス、マンパワー等）に対しても、有料、無料とに分けられており、無料に比べ、有料は国家支援が控えられている傾向にあり、社会福祉サービス事業（社会への福祉を専門にするサービス業）においては、その伸び率も低いものとなっている。シルバースervice（老人へのサービス）を産業化し、経済活性を図っている日本とは、大きな違いとなっているようだ。韓国の福祉全般において、今後とも当面の間は国民の多くが福祉サポーターとの方向性で進めていくようだ。

しかし、今後急速な高齢化となっていく韓国において、これまでのようにすべてを家族に依存するこ

とは非常に困難なものとなっている。そのため、社会福祉サービス事業の活性化は必然的に求められていく方向性にあると考えられる。

韓国の福祉施設の運営は、大半が寄付でまかなわれていることからわかるように、一般的にこの施設も決して豊かとはいえない。そこには、少子・高齢化と経済問題がある。しかし、その反面、韓国の福祉は、国民一人一人のたくましいボランティア精神によってまかなわれているということがいえる。この背景には、小、中、高の教育方針の一環にボランティアが含まれており（中・高は義務）、国民のボランティア意識の基盤が違つことにあると思われる。そのためか、軍人や警察官、大手企業においても、新人に連帯感と奉仕精神をつけるためと、施設研修させるのは普通のことのようにだ。また、施設側も、ボランティアに依存している部分が多く見られる。たとえば、レクリエーションや各種療法、また、利用者の日常生活の補助から、掃除にいたるまで、365日多くのボランティアの人々が施設運営に携わっている。日本においても、地域に根ざした施設作り、開かれた施設を今後の課題としているが、ぜひこれを見習い、活用していくべきではないだろうか。たとえば、これまでのように専門職化を向上させていくのではなく、プロとノンプロの領域を分け、互いに連携をとりながら、相互依存関係（互いに依存する関係）を確立していくような施設運営にしていくことが重要だ。また、そのためには単に

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

受動的にボランティアを待つのではなく、こちらから地域、学校、企業等に能動的(積極的)に働きかけ、関与していくことも重要だ。

また、急速な高齢化を迎えている韓国においては、福祉専門職(福祉を専門に扱う職業)の育成は大きな課題となっているように思われる。

●宮廷のキムチ

あーちゃん

韓国料理の真髄ともいえる宮廷料理。王様に召し上がっていただくための料理は、最高の食材を使って、最高のコックの腕で作られました。庶民はその時々で選りすぐりのものを王様に献上します。献上品は庶民が苦勞をした贈り物ですから、彼らの生活がよくなるように、よく表れます。よって、これらの食材を使って作られた料理を見れば、全国の庶民の生活を察することができ、国情を判断することができるというわけです。さて、では、そんな王様のお膳に上がったキムチとは一体どんなものだった

のでしよう。

高麗時代の約500年間、都として栄えた由緒ある土地柄である開城(ケソン)。

この地域は今でも食べ物が豪華なことで有名です。この地域で有名なキムチに「ボサムキムチ」というものがあります。「ボサム」は「包む」という意味で、大きな白菜の葉に各種の具を包み込んで漬けたんだ贅沢な逸品。

その具の豪華さを見た目の美しさから「王様のキムチ」ともいわれるほどです。開城のオリジナルでは、

キムチについて調べました。



生栗、椎茸、石茸、セリ、大根、芥子菜、ネギ、にんにく、生姜、糸唐辛子、粉唐辛子、塩辛、生牡蠣などを具材として葉にのせます。これができるだけコンパクトになるように包み込み、薬味汁をかけて漬けて込んで熟成させるのです。しかしながら、実際には高麗時代には唐辛子はまだ、朝鮮半島に伝わっていないので、このボサムキムチは、都がソウルに移った後に開城で誕生したメニューであり、現実に高麗王朝の王様が食べていたわけではありませんでした。さて、時は流れて、李朝時代の都、ソウル。王様が召し上がったキムチは、ソッパッチ(大根と

白菜を混ぜて漬けたもの)、トンチミ(冬に食べる大根の水キムチ)、カクテキ(大根キムチ)、ボサムキムチ、白菜キムチなど、色々な種類がありました。宮中では毎日のお膳にキムチが6種類はのったのです。それらは上質な材料を使うだけでなく、その中でももっとも美味しい部位だけを選んできれいに切って作られました。

例えば、宮中で最も供されていたソッパッチを作るとき、ソッパッチの「ソッ」というのは「混ぜる」という意味。「チ」はキムチの「チ」です。

材料の白菜は、一番外側のこついのを取った後の5枚から6枚が一番美味しいので、そこだけを使います。真ん中のごちゃごちゃしたのは味があまりよくないのでボツ。そして、後から切らずに初めから一口で食べられるくらいに切ってしまいます。

一番上等な葉を縦に半分に分けて、あまり形よくないのは二級品なので一級品と二級品をそこで分けます。大根もその二分の一とか、同量というように、3mm厚さで四角く同じサイズに切ります。

それからヤンニョム(薬念)を混ぜて一緒に漬けてみます。牛肉の類は入れず、お魚類とエビ、タコ、牡蠣またはグチの塩辛などを時期によって色々と変えて入れます。そういった動物性のものを入れて、塩辛の味をつけて、唐辛子粉を入れていきます。

常に、Aクラスのもの、形がちょっと悪いBクラスと、一番外側の葉だけのCクラスの3種類を作りました。クラスによって、入れる唐辛子の質も変わります。そして、Aクラスは王様と王妃、Bは女官

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

と事務所、Cはオンドルの火たき、水汲み、庭の掃除夫というように分けて食べられるのです。

それらは小さい甕に分けられ、とても丁寧に食べ頃を考えて漬けます。旧正月前に食べるものは生ものがいっぱい入っているもの、旧正月からは塩辛の味付けのもの、それから立春が過ぎた頃、春になって食べるのは塩味だけ、というように分類して漬けます。

そして、甕の中程の美味しい時期のキムチだけを王様や王妃に出し、それ以外は色々な料理に使ったのです。

キムチといえば、オモニ(お母さん)が作る温かい家庭の味というイメージが強いですが、宮廷ではこのような選りすぐりの逸品に大变身してしまつたのですね。

ポサムキムチについては日本の焼肉屋さんでも出しているお店がありますし、最近では韓国旅行のお土産としても売っている



ようです。ぜひ一度、贅沢

キムチで李朝の王様気分を味わってみてはいかが?

○無限のチカラ

キムチの持つ無限のチカラ。辛いものにあまり馴染みのない日本で、キムチがここまでの人気を確立したのは、その無限のチカラも大きな理由の一つでしょう。

まず、キムチの辛さを生み出す唐辛子。唐辛子の辛味成分であるカプサイシンの生理作用で、食べると強い刺激となり、身体の血のめぐりがよくなり、体温が上昇し、発汗します。そのことはエネルギー代謝を進め、脂質が分解されることとなって、肥満防止につながるため、唐辛子がダイエットによいと言われるのです。

それから、パワーの源ニンニク。ニンニクに含まれるアミノ酸の一種である、アニンンは腸を強くし、神経を安定させ、精力を高め、疲労回復にも効果が



本場のキムチです!

あります。その効能の定着度といったら、古代エジプトではピラミッドづくりにたずさわる人たちが常用していたという話があるほど。そして、その旨味に欠かせないアミの塩辛。キムチの深いコクにはアミの塩辛、またはイワシの塩辛は欠かせません。

各種のビタミン・ミネラル、また必須脂肪酸のDHA(ドコサヘキサエンサン)が豊富に含まれ、とくにDHAには記憶や学習能力を維持、増進させる作用があり、成長期にはぜひ摂りたい栄養素。

極めつけは、野菜の豊富な食物繊維。食物繊維の摂取によって、腸の運動が活発になり、胃腸を丈夫にするだけでなく、整腸作用を促進します。そして、これらの食材があつて、はじめて起こる「発酵」がさらにキムチをキムチたらしめ、無限のチカラを与えているのです。「発酵」の過程で重要なのは、乳酸菌の働きですが、乳酸菌は一般の細菌と比べて低温で、栄養が行き届いた豊かな環境の中でだけ、繁殖します。塩漬だけのキムチでは水分が奪われ、微生物が育ちません。

野菜や魚介類は自家酵素の働きでアミノ酸や乳酸が得られますが、日持ちが悪く、腐敗が進むのを防ぐことができませぬ。このとき、抗菌作用もあるカプサイシンが、一方では腐敗を防ぎ、もう一方では乳酸菌の発育を助けるという大役を果たすのです。そして発酵の過程で、驚くほどのビタミン類などの栄養素を作り出します。キムチがいろいろな食物で作られながらも、腐ることなくほぐしく熟成し、保存用の発酵食品として完成されたのは、実に唐辛

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

子のなせる技だといえます。

さらに最近では、キムチに含まれる乳酸菌が鶏インフルエンザを治療し、食中毒を予防するという研究結果も発表されたり、キムチの乳酸菌の中から、化粧品防腐剤の代用品になるものを取り出したり、といったキムチの新たなチカラまで発見され、話題を呼んでいます。

キムチはよく、野菜の数だけ種類があり、オモニ(お母さん)の数だけ味があると言われます。キムチ作りには人の「手」が使われるので、それが味にも微妙に変化をつける、ということでもオモニの手の味『手味(ソンマツ)』も大切な調味料の一つだといわれるのです。そんなオモニの愛情が長い歴史を通じて何代にも伝承をして、キムチにさらなる無限のチカラをひそかに加えてくれているのかもしれないですね。

○朝鮮出兵のタマモノ

キムチには欠かせない唐辛子ですが、意外にもそれは日本から朝鮮に伝わったものなのです。

キムチというのは朝鮮半島での漬物の総称であって、日本の「漬物」に相当する表現です。当てられている漢字は「沈菜(チムチエ)」。野菜を沈めて漬けるという意味からです。そして、もともと野菜類を保存する目的で作られたキムチは塩を基本として、ニンニク、生姜、たで、山椒などの香料が合わされたのが主であり、唐辛子は一切使われていなかったのです。

今日のような、赤くて辛い唐辛子の使われているキムチが登場してから実はせいせい300年にもならなくらいなのです。では唐辛子さんとキムチ君は、いつ頃どのように出会ったのか、その伝来の旅にちよっとお付き合いしてみましようか。まず、唐辛子という植物は熱帯アメリカ地域原産の植物で、広く知られるようになるのは、

コロンブス
スガ新大陸で発見し、ヨーロッパに持ち帰った時のことでした。
1492年のことです。
これが、



本場の料理。石焼きビビンバで～す

ヨーロッパでまず広まりました。そして、日本には1542年、ポルトガル人宣教師が大友義鎮に献上したという記録が残っています。

日本では最初、食用とはせず、観賞用や毒薬として用いられたようです。そして、韓国の学者、李盛雨によれば、唐辛子は1592年の豊臣秀吉朝鮮侵略の際、倭兵が朝鮮民族を毒殺しようとして運び込んだもので、韓民族の体質が倭人と違って強靱だったため、かえってこれを愛用するようになったとのこと。また、毒物としての唐辛子は、大量に風上で焼かれ、唐辛子混じりの煙を敵陣まで飛ばすことによって、目潰しの役を果たしたり、セキが止まらない状態にして混乱させるといふように使われたと言われています。

さらには、奇襲作戦として粉末唐辛子を敵の顔にぶつけるといった戦法まであったという説もあります。これがどこまで事実かは今となってははっきりしませんし、また秀吉以前に倭寇が朝鮮に持ち込んだという説もあるようですが、日本から朝鮮半島に伝わったというのはどうやら確かなようです。

そうして、唐辛子が初めて朝鮮の文献に出るのは1623年の『芝峰類説』です。

それによると、「南蛮椒には強い毒があり、最初倭国から入ってきた。

それで俗称を倭芥子(ウエキヨシヤ)という。時にこれを植えている酒屋でその猛烈な味を利用して、焼酎に入れて売っているが、これを飲んで死んだものもある。」と記述されています。これは酔いのまわりを早

韓国研修旅行を振り返って!!

事前・事後研修報告集

くしたい酒屋の知恵だったのでしょうね。しかし、キムチ君と唐辛子さんが会うまでにはまだ時間が必要でした。1670年ごろにハングルで初めて書かれた『飲食知味方』という家庭料理の本にはまだ唐辛子さんが登場しませんでした。

初めて唐辛子を使用したキムチが登場するのは1766年に書かれた『増補山林経済』です。

ここで、唐辛子が入ったキムチ6種が紹介されていて、粉末唐辛子だけでなく、唐辛子の葉や茎まで利用されているのです。

キュウリのオイソバキと呼ばれるキムチ、水分たっぷりの水キムチとよばれるトンチミ、茄子のキムチ、アワビ・牡蠣入りのキムチ、白菜キムチなど現在あるキムチ各種がここで登場します。

その後、1827年に出版された料理書『林園十六志』にはなんと、すでに96種類ものキムチ君が紹介されているのです。

こうして、日本から渡った唐辛子さんとキムチ君が運命の出会いを果たしたことにより、今日のキ

ムチが大きな存在感を韓国料理において放つようになるわけです。

日本においてそのまでの人氣を博さなかった

唐辛子さんが朝鮮半島にてブレイクした理由としては、儒教色の強い朝鮮での、肉食における香辛料の需要や、陰陽五行説における色の重要性など諸説あるようですが、唐辛子を抜きに今日のキムチを語れないことは確か。適材適所とはよく言ったもの。いつしか、料理に唐辛子がよく使われる点が朝鮮・韓国料理の特徴となりました。

めでたく運命の出会いを果たすことができました唐辛子さんとキムチ君に今さらながら祝福と感謝の言葉をお伝えしたいと思います。

「おめでとう。そして、美味しくなってくれて本当にありがとうございます。」

〔参考文献〕

鄭大聲『焼肉は好きですか?』新潮選書 2001年



本場の料理はなんでもうまい!

黄慧性十石毛直道『韓国の食』平凡社 1995年
ハン・ボクリヨ『家庭で作れる「チャングム」韓国家庭料理』光文社 2004年
呉永（一字漢字表示不可）、柳香姫『絶品キムチ早わかり』創森社 1997年
朴禮緒『朝鮮民族の知恵』2003年

●カヤグムについて

ダヤン

カヤグムについて調べました。



カヤグムは値段も高く、貴族しか弾けないとガイドさんから聞き、がっかりした。民間の人々とは遠い存在だ。日本では琴は20万〜200万ぐらいで買えるので普通に習える。江戸時代には武士の娘などのたしなみとして弾かれていたし、目の見えない障害のある人が、「検校(けんぎょう)として作曲したり演奏していた。



カヤグムとは韓国のお琴です

去年はあんなこともあったなあ。 今年はどうなるかな？

現在は都立高校にも琴クラブがあり、普及している。私の教室では、14歳から80歳までの女性が習っている。家元制度は別として新しい曲が作られたたり、洋楽のビバルディの四季やエリックサティのジムノペティなども弾かれています。音楽とは音を楽しむものなので、カヤグムを楽しめれば良いのと思う。(編集部のミスにより、ダヤンさんの「事前研修レポート」を掲載することができませんでした。次号に掲載いたしますのでご了承ください。)

《2007年望年会に参加して》

●2007年望年会を振り返って

MARK E

今回、2007年ほっとスペースクリスマス望年会の幹事、司会を務めてかなり働きがいがありました。内容も、Mrワダックのマジック、Sさん達の歌と踊

り、寸劇他バラエティに富んでいて良かったし、結婚祝いでは、新郎、新婦さんが仲良く寄り添っている感じがした。多少のトラブルはあったものの皆が大人の対応ができていて、会はスムーズに進んでいました。司会の私は、式次第をめくり忘れたり、スピーチへの移行がたどたどしいところもありすっかりこなせずに情けなく思ったのですが、メンバーや職員の皆様の協力のおかげで無事に乗り切れました。皆さんお疲れ様でした、そしてありがとうございます。2008年ほっとスペース八王子が盛り上がるよう尽力したいです。

●今年も楽しかった望年会 未来(みく)

十二月二十二日、望年会・あーちゃんの結婚式。今回は、望年会と誕生日プラス今回新しい会員、あーちゃんが結婚することになったので祝う会もしました。最初はプレゼント交換をして、その後ビンゴ大会、あーちゃんの結婚式もしてそれから望年会が始まりました。プレゼント交換には、まさか、クーちゃんもプレゼントがありました。プレゼントの中身は丸い小物入れでした。ビンゴ大会ではディクシーさんが司会となりお手伝いではSさん、山口咲子さん、国分寺エクスぺリエンスのユキさんが手伝ってくれました。景品はミルキー、アーモンドチョコ、カントリーマアムでした。私の場合ミルキーをもらいました。ビンゴ大会も終わり、今度は今回の主役あーちゃんの結婚式が始まりました。その時私は、

あーちゃんに花束を渡す役目をしました。緊張したけれどちゃんと渡せてよかった。結婚式も終わり、望年会が始まりました。望年会ではワダックさんの手品、白熊さんとNAOさんのピンクレディショー、渡辺広海さんの吉野家の仕事を披露したり歌を歌い楽しいショーがあり大うけしました。その後来年の抱負で終わりました。今回の総合同会のMARK Eさん、楽しい企画をありがとうございました。

●望年会の感想について 仁木忍

12月22日午後1時から5時まで八王子労政会館で望年会をしました。ビンゴゲームや白熊さんとNaOさんのピンクレディメロディやマジックショーはとても楽しかったです。ビンゴゲームではビンゴになって商品がもらえたり、マジックショーは人の心理を見分けたり、お金をすばやく動かしているところは迫力がありました。それから、たくさん食べ物が食べられて、お酒もいっぱい飲めて楽しい忘年会でした。それから、まさるさんとあーちゃんも結婚してとても感動しました。幸せな家庭をきずいてほしいです。



徐々に盛り上がりました

去年はあんなこともあったなあ。 今年はどうなるかな？

それから、6時から10時まで二次会でカラオケをしました。僕は「バビル二世」と「戦争を知らない子供達」と、「世界で一つだけの花」を歌いました。お酒も何杯も飲みました。みんなと楽しく歌えて飲み物が楽しく飲めて楽しいカラオケでしたが、費用が五千円かかったので、びっくりしました。それから10時からディクシーさんとハチさんと茉莉さんとあーちゃん夫妻と安兵衛さんの7名で3次会をしました。みんなでお酒を飲んだり楽しくお話ができてよかったです。この調子で来年は障害者自立支援法を撤廃できるように運動していきます。

●望年会は楽しかった

渡辺広海

ケーキが美味しかった。みんなが協力して飾り付けをした。Aさんが暴れたのが怖かった。料理はどれも美味しかった。ピンゴ大会でミルクが当たった。プレゼント交換では折られたみの傘があたった。うれしい。来年も参加したい。

●望年会の感想 NAO

ピンクレディを一生懸命練習したが、なかなか覚えられず、結局アドリブでやることになりました。ひんしゅくをかうと思いましたが、なかなか良かったというところでほっとしました。雑用が多かったのでとても大変でしたが、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

●望年会

山口咲子

昨年の12月22日(土)に八王子の労政会館で望年会があった。私はビンゴゲームの景品のラッピングの係りだった。まず、堀部さんと一緒に包装紙を買いにさこうへ行ったが、さこうには売ってなくて、ダイエーのタイソ一の百円均一に行つてやつとお目当ての包装紙がありそれを買った。その後景品を包装紙で包み、やつと景品のラッピングが終わった。当日はビンゴゲームであったった人に景品を渡した。ピンクレディの歌の物まねも良かった。お料理はスパゲティが美味しかった。また来年の望年会が今から楽しみだ。

《2007年の思い出》

●久し振りに行ったフロッピー

久嶋茉莉

2007年十一月九日ほっとの皆で八王子城址と

フロッピーまでほっと車で行きました。八王子城址に着いたとき、山の方だから大変なのかなと思っていたら楽な坂道でした。歩いた時間はほんの二十、三十分の距離でした。帰りにパンフレットの地図を見たら私の家から近いことがわかりビックリしました。いま、私の家の裏山は高速道路もでき、その見えない所には八王子城址があるなんて思いもしませんでした。その後、フロッピーへ行きました。今回は体調が悪くお風呂に入らないで休憩所で横になりながらTVを見たり、M・Kさんとクーちゃんゲームコーナーでハイパーホッケーをして過ごしました。お風呂を食堂で食べてその後少したってからお芝居も見ました。でも、ずっと座ってたら足が痛くなり、また、休憩室に行つてTVを見ていたら、となりの人がいびきをかいていたので落ち着きませんでした。もう一つの部屋があつて見ていたら静かに寝られる部屋で、私はそこで少し寝てそれからTVの方に戻つて時間までドラマを見ました。今回は、久し振りにフロッピーに行つたら漫画喫茶が出てくるなんてビックリしました。このツアーを企画してくれた方々、ありがとございました。今回でほっとの日帰り旅行に行くのは最後だと思いません。有難うございました。

●やさしい照代さん

久嶋茉莉

照代さんが亡くなって数ヶ月があつというまにたつてしまいました。あの笑顔を見ていると元気が

去年はあんなこともあったなあ。 今年はどうなるかな？



照代さんとの思い出

出るくらい楽しい人でした。私
がほっとスペース八王子に入っ
て照代さんとは、あまりしゃべ
らなかつたけど、一、二年経つ
と仲良くなり、照代さんの家に
遊びに行ったこともありまし
た。時々、けんかもしたこともあり
すぐに仲直りするくらいでし
た。照代さんは、ほっとスペー
ス八王子のお母さんの感じてし
た。安ペーさんにからかわれた
り、ある会員とのトラブルにも
強かった照代さんは、いつもニ
ッコニコ笑顔でした。去年の八月
二十日、五十五歳の命で亡くなっ
たのは辛いです。いつものよう

に、「ほっと」の留守電に「明日休みます」と、電
話して当日、「来ちゃった」と言って出てきそう
です。私は、照代さんとは時々けんかをしたけれど、
大好きでした。葬式と告別式時には、照代さんの
安らかな眠りに大泣きをしてしまいました。私の隣
にいた彼もいつもけんかをしてきた仲なのにこの日
は、泣いていました。照代さんの見送りには、元職
員・会員・元会員がいっぱい別れに来ていて、照代
さんも喜んでいと思う。生きていたときは、いつ
も皆に「葬式に来てくれるよね」と照代さんが言っ
ていたことがしょっちゅうあったので、からかって
三十三回忌にはいくなと、シヨークを言ったので
が、まさか本当に照代さんが亡くなるなんて考えま
せんでした。照代さん、本当にありがとう。照代さ
んがいた「ほっと」は、楽しかったです。

《2008年を迎えて》

●初日拝観

M I K E

今日の元日も恒例の初日の出登山を決行しまし
た。高尾山は市街よりも数段寒くてきついけれど、
一年に一度のことと気合を入れて山道を登っていく
と、「まだ頂上は先なのかな?」、「風が冷たいね」
などと周りの声が耳に入ってくる。それでも年に一
度の行事なので皆けっこう楽しそう。ケーブル
カーの終点までがけっこう長いので、集中して歩い
ていくと、眺めのいいところでは、街の灯りが星の
ように輝いていてとても美しい景色が見れるので、

少し、ホットする。薬王院の建物を過ぎると人がま
ずす多くなり、腹が冷えてきたのでWC(トイレ)
に行ってから自販機でホットコーヒーを購入して飲
んだ。予定よりも一時間ほど早かったので大きな木
の根に、防寒シートをかぶって、しばらく待機して
いると山頂あたりが賑やかに迎光祭が始まる気
配なので、手ごろな場所に陣取って太陽が昇る瞬間
を眺めていた。薄明るかかった空と雲の隙間が次第に
オレンジ色に染まり、一瞬まぶしい光が輝いたと見
る間にみるみる太陽が昇ってきた。皆で、感動を共
有しながらしばし見とれてしまいました。こうして、
2008年の初日の出を拝観し、満足した私は帰途
につきました。

●来年の抱負

久嶋茉莉

今年の抱負は、リサイクルわかくさに移動するの
で、仕事を頑張っていきたい。それと働いてお金を
ためて、プーターコさんがいる福岡に彼と一緒に
いきたいです。

《M I K Eの俳句コーナー》

早寝して 初日へ望む 蕎麦熱し
年始から やりくりの事 風任せ
縁かな こころ束ねる 初日の出
鬼は外 一服も外 節分夜
立春や 色とりどりに 通学路
日陰にも 柔らかなさかな 露のつつ

三十路越え 四十路の身にも バレンタイン
冷たさやは 遠い記憶の 雪かき日

《特別寄稿》

大衆団体と政党・党派の

関係・役割について 植松恵樹

今、こういう本を読んでいる。「格差社会にいどむ
ユニオン—21世紀労働運動原論—」(木下武男
花伝社)。

その中に戦後労働運動の総括の項がある。「(「は引
用したことを示す)。

「産別会議は、1946年の結成時の163万人か
ら、その5年後の1951年、4万人へと激減して
いる。」

今回はこのことを考えてみたい。単に労組のこと
だけではなく、現在、そして今後の「ほっと」にも
大いに関係があると思うので、皆さんに考えて欲し
いと思う。なぜ、戦後に華々しく登場した産別会議
という労働組合が、わずか5年たらずで、159万
人(?!もへり、解散する羽目になったのか?)

よく言われているのは、産別会議を指導した日本共
産党の「赤色労働組合主義」にその原因がある、と
いうものだ。ちなみに、赤色労働組合主義とは「労
働組合の基本的目標を革命的階級闘争への労働者の
組織化・訓練・動員による社会主義革命におくもの」
であり、「第1次世界大戦後の左翼労働組合の指導
理念」である、とされている。

共産党が大衆団体である産別会議という労働組合
にこの理念を押し付けたことが組合員激減—解散へ
の道となったということだ。このひとつの教訓は我々
も大いに学ぶ必要がある。ほっとの今後が産別会議
と重なるて映るのが私一人であることを祈りたい。
赤色云々以前に、労働組合や病者団体は大衆団体で
あり、そこでは第1に「思想信条、政党支持の自由」
が完全に保障されていなければならない。そのこと
を踏まえずに「一般組合員を政治的に指導する」な
どと思いつがるから、産別会議のようになってしま
うのである。しかし、当時の状況を見るならば、ア
メリカ占領軍(EGTO)、独占資本、その助けを借り
たであろう右派労組幹部(産別民主化同盟)などを
批判しなければ公平ではない。

だが、結果は事実だ。左派労組たらんとすれば、様々
な攻撃を想定内として対応しなければならぬ。さ
て、ほっとスペース八王子である。新年早々、産別
会議のような悪夢は見たくないものである。対外的
に作業所として心病む人々のほっとできるスペース
という看板が偽装であってはならない(最近偽偽者
が流行っている)。

第1に、病気になった経過措置やその苦しみを理
解しなければならぬ。しばらくの間、何もせず、
ボーっとしているのも良いかもしれない。病者のあ
りのままを受け入れればよい。そのままの状態を受
け入れて、時間をかけて人間関係、信頼関係を何ヶ
月もかけて作ればよいのではないか。ゆっくりリス
ムが病者には一番必要だ。それからほっとの歴史や、

反戦平和などの取り組みの大切さ、障害者自立支援
法に反対しなければならない理由などをゆっくりと
理解してもらおう努力をしていけば良いだろう。これ
ができない指導者は失格である。政党は選挙で勝つ
こと、大衆団体は人を増やすことができなければ責
任を問われる。自明のことだ。

第2に、もつひとつ重要なことは、どんな組織で
も世代交代(若返り)が必要だということだ。いつ
の時代でも変革の中心には若者がいる。我々ロート
ルがのさばってはいけぬ。大正9年、あの八
幡製鉄所(現新日鉄)で「溶鉱炉の火は消えたり」
といわれた1万5千人の大ストライキを指導したの
は23歳の浅原氏と25歳の西田氏の2人のヤングシエ
ネレーションであったという。私の職場でも、新左
翼の組織などでも、後継者作りもしないで居座って
いる人々が多い。きわめて保守的なのである。ここ
でも「新」はニセモノである。古いもの、保守から
は何も生まれない。革命はどこでも必要なのである。

会員のみなさまへ

運営委員長 植松恵樹

会員のみなさんで準備した。望年会、もたのし
く無事おえることができました。みなさんのご協力
に感謝いたします。

さて、最近の会員はメンバーも入れかわり、今年、
昨年入会の方が多数となりました。

いくつか、気になる点があるので、お伝えしたい
と思います。ほとんどの会員の皆さんは、病気にな

り長い間苦しんだり、仕事を失った方もおられると思います。そして入院の必要もなくなり小康をえて、日中の“居場所”を求めて、入会されたという方がほとんどだと思います。

しかし、作業所にはどこでもその生い立ちがあります。ほっとも例外ではありません。ほっとは「精神障害者」であるがゆえに、島田事件の被告とされ、死刑判決—その後の本人、支援者などの闘いで無罪を勝ち取った赤堀政夫氏を支援する中から生まれた。すなわち、「精神障害者」ゆえに、刑事事件でテッチあげられ、えん罪に苦しむ病者を二度と生んでほならないという事です(最近のえん罪をみれば、一般市民でもいつえん罪のワナにはめられるかわかりません、富山や鹿児島での事件など)。

今後とも病者に対する社会的な偏見などから同じような事がいつおこるかわかりません。その為にも、ほっとは、病者の心安らうへ場と共に、社会性をもち、政治にも関心をもち、病者の生活と権利をおびやかすことに対しては、それらを守る活動をする必要があります。会則などをよくお読みになり、それらのことをよく理解されるようにお願いしたいと思います。ハンセン氏病、C型肝炎、原爆病、水俣病などをみてわかるとおり、患者や当事者の闘いによって、大きく社会を動かして政治を動かして自らの権利を守る事ができるのです。

ほっとスペース八王子労働学校(学習会)開催に
しん

現在、ワーキングプア、貧困化などは世界的な問題となっております。それをもたらしているものは、グローバルゼーション、弱肉強食の市場原理主義です。一方、これらに反対する労働運動、社会運動も、アメリカ、韓国、日本他様々な国で開始されています。ほっとの会員、職員にとっても例外ではありません。生保、障害年金で生活している会員にとって、障害者自立支援法は、自己負担の強制などによって、生活が今以上におびやかされようとしています。職員にとっても、補助金制度のゆくえんによって、丸ごと雇用がどうなるかという問題です。会員、職員がともに生活と権利を守る必要がさし迫っています。今社会に目をむけ、様々な人々と連帯したあらゆる取り組みが必要です。そのために、社会のしくみや政治、労働、文化なども学ぶ必要がありませう。

標記のとおり2008年1月より労働学校(学習会)を開始します。

日時 2008年1月7日以降 毎週火曜日及び第2、4、5金曜日 午後6:30~7:30(目途)
場所 ほっとスペース八王子
参加対象 組合員、会員(希望者)
内容 労働関係法、社会、政治問題、文化他

●組合作りの・労働相談

共に考え、共に解決しよう

●会員になろう

病気で悩んでいる人、苦しんでいる方へ。一人では解決できないときは、ほっとスペース八王子の会員になろう。仲間が相談にのってくれるよ。

●ほっとには仲間がいる。お気軽にご連絡を。専門スタッフが対応します。

【連絡先】042-628-2319 (PM12時~13時・15時~19時)

《編集後記》

2008年も、はや2月となりました。今、世界はアメリカ発の「サブプライムローン問題」で揺れています。こうした経済的ひずみは、言うまでもなく地球規模で、社会的弱者を直撃するでせう。当然日本においても今後、ますます格差社会化が進んでいくと思われまふ。私達障害者も、社会的連帯のネットワークを構築しつつ、対抗しなければなりません。従って、昨年来、「自立支援法」見直しの機運も強まっていますが、気を緩めることなく撤廃の運動を進めていく必要があると思ひます。頑張りましよう。(編集部Y)

